

学部等教員組織編制方針

工 学 部

①専任教員数の遵守，教員の構成について
大学設置基準に定めた必要専任教員数を下回らないよう，教育研究上の専門分野等のバランスを考慮しながら，各学科の教育研究上の目的等を実現するために，教員配置計画に基づき，適切な教員数を配置する。
②教育効果に配慮したクラス編成，専任教員の授業負担への配慮について
【教育効果】 卒業認定に関する方針として示された 8 つの能力を養成するために，全授業科目を各能力に即して体系化するとともに，講義・演習・実験・実習等の授業形態を組み入れた多様な学修方法による教育課程を編成し実施する。 また，全学共通初年次教育科目を設け，多様な学生との触れ合いやグループワークにおける協働によるコミュニケーション力の向上を図るとともに，対話を通じて主体的な授業参加による積極的姿勢を育成する。
【授業負担への配慮】 校務を分担するとともに，非常勤講師や TA，SA を採用し，過度な負担が生じないように配慮しながら，教育の質を維持するよう努める。
③教員の適切な役割分担及び責任の所在の明確化について
学部長の下に，担当，研究所長，主任等の役職を置き，教員の適切な役割分担を図り，組織的な連携体制を確保し，教育研究に係る責任の所在を明確にする。
④教員の資質向上について
学生による授業評価アンケートの実施（又は活用）や，全教員対象の F D・SD 研修会などの組織的な実施により教員の資質向上を図る。
⑤その他，学部等として重視するポイントについて
教員組織編制の適切性について，定期的な点検・評価を実施し，検証する

学部等教員組織編制方針

工 学 研 究 科

①専任教員数の遵守，教員の構成について
大学院設置基準に定めた必要専任教員数を下回らないよう，教育研究上の専門分野等のバランスを考慮しながら，各専攻の教育研究上の目的等を実現するために，適切な教員数を配置する。
②教育効果に配慮したクラス編成，専任教員の授業負担への配慮について
【教育効果】 1年次の全専攻に必修科目「ロハス工学特論」を開講し，講義内容は学部で学んだ幅広い教養と専門知識に基づき，本学部で掲げる「ロハス工学」の理念に従い，工学全般にわたる幅広い知識と各専攻分野の専門知識を横断的に修得させる。 【授業負担への配慮】 担当教員による個人的な指導に過度に依存することのないよう，主指導教員及び副指導教員からなる複数指導教員制をとる。
③教員の適切な役割分担及び責任の所在の明確化について
工学研究科長の下に専攻主任を置き，教員の適切な役割分担を図り，組織的な連携体制を確保し，教育研究に係る責任の所在を明確にする。
④教員の資質向上について
学生による授業評価アンケートの実施（又は活用）や，全教員対象のFD・SD研修会などの組織的な実施により教員の資質向上を図る。
⑤その他，学部等として重視するポイントについて
教員組織編制の適切性について，定期的な点検・評価を実施し，検証する